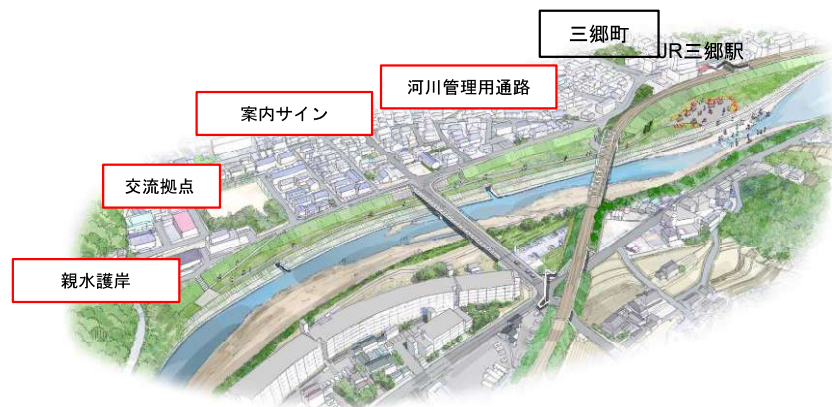


- ・親水護岸、河川管理用通路などを整備することにより、安全で利用しやすい河川空間を創出し、三郷町が実施する日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を中心としたまちづくりと併せ、新たな水辺の賑わいづくり拠点を創出。

□整備内容

- ・河川管理用通路、親水護岸など



整備イメージ

□期待される効果

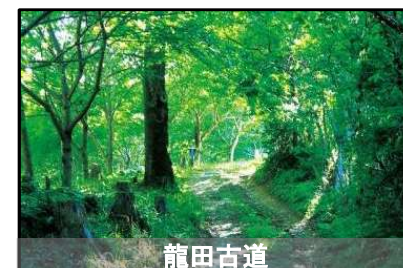
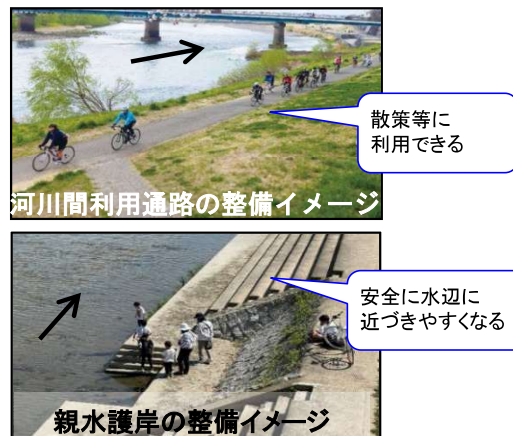
- ・親水護岸の整備により水辺に安全にアクセスしやすくなるため、水辺のレクリエーションや環境学習会等ができるようになり、利用者の増加が期待できる。
- ・令和2年6月に日本遺産に認定された「龍田古道」や亀の瀬の地すべり地区などの周辺観光資源への回遊性の向上が見込まれる。



□整備前(現在)



■整備後(イメージ)



R7年度実施中箇所

【杉町地区】

土砂掘削：V= 約3,100 m³

杉橋より撮影（上流側）



杉橋より撮影（下流側）



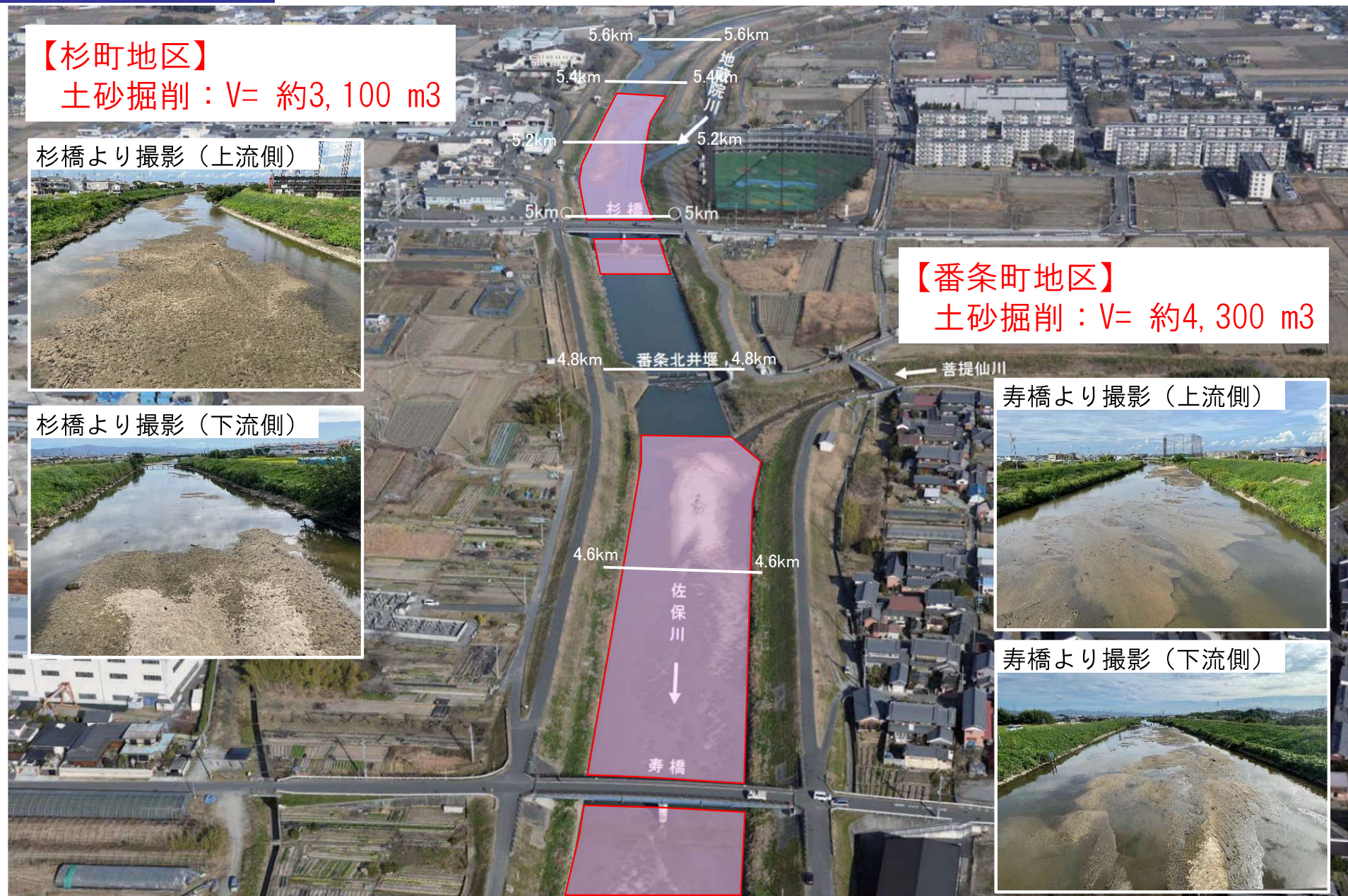
【番条町地区】

土砂掘削：V= 約4,300 m³

寿橋より撮影（上流側）



寿橋より撮影（下流側）



※実施範囲は今後変更となる可能性あり

R7年度実施済箇所

【額田部南町地区】

樹木伐採：A= 約1,200 m²

高橋より撮影（作業前）



高橋より撮影（作業後）



大和川流域治水啓発イベントを開催しました！

～みんなで見る・感じる・作る・知る 大和川の流域治水～

- 県内のイオンモール大和郡山において、「みんなで見る・感じる・作る・知る～大和川の流域治水～」と題して、流域治水の動画・アンケート・模型などを用いた啓発イベントを開催しました。
- 啓発イベントとして、各ブースで流域治水について学んでいただき、スタンプラリーを回った方には流域治水グッズを進呈しました。8月2日(土)～3日(日)の2日間で467人の方にご参加いただきました。
- 防災について学びたい人向けにマイタイムライン(避難計画)の作成キットを配布し、イベントブース内でいざという時のご自身の環境に合わせた避難行動を考えていただきました。

開催概要

- 【日時】 令和7年8月2日(土)3日(日) 10時～16時
【場所】 イオンモール大和郡山 1階 北小路コート
【参加者】 イオンモール 来訪者 467人
(スタンプラリー+アンケート回答者)
【内容】 各ブースでの体験を通して、流域治水について学習していただきました



大和郡山市長も
ご来場されました



流域治水グッズ



避難計画作成キット



感じるコーナー

大和川流域を立体的に表した模型で、流域治水対策の有無で水被害がどれだけ減るか視覚的に体験してもらいました。



作るコーナー

家庭にあるもので災害時に緊急で手作りできる、ビニール袋のカップや新聞紙スリッパを作っていました。



知るコーナー

タブレットを使って、質問に回答してもらうことで、アンケートに答えながら流域治水について学習してもらいました。



NHKや奈良新聞に当日の様子を取材していただきました。

参加者の感想

- 今まで奈良県は大丈夫だと思っていたが、大雨の時は危険だと分かった。
- 聞くだけではなく、見て感じることで備えようと思えました。
- 子どもに分かりやすいイベントでした。ありがとうございます。
- 国土交通省が様々な取り組みをされていて新鮮でした。

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
大和川河川事務所 流域治水課
〒582-0009
大阪府柏原市大正2丁目10番8号
TEL 072-971-1381 (代表)



マイ・タイムライン講習会を開催

～住民一人ひとりが安全に避難するための取り組み～

- 大和川河川事務所は、王寺町の住民を対象に、マイ・タイムライン講習会を開催しました。
- 自分がどういった防災意識を持っているかを分かりやすく楽しく診断出来る「防災アニマル診断」を実施後、マイ・タイムラインの作成手順などを説明しました。
- 王寺町からはハザードマップの説明を行い、様々な観点から参加者の防災意識の向上を図りました。

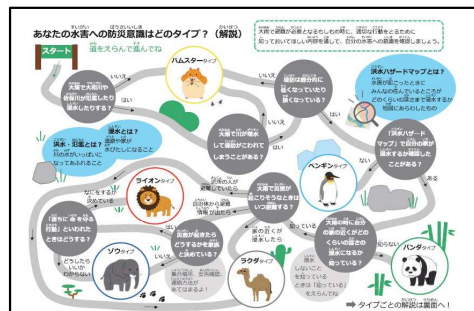
開催概要

- 【日 時】 令和7年6月15日(日)14時～16時
 【場 所】 王寺一丁目公民館
 【参 加 者】 王寺町一丁目住民 17名
 【実施内容】 ①防災アニマル診断を用いた意識調査
 ②マイ・タイムラインの作成による水害への備え

【講習会資料】



王寺町防災
ハザードマップ



防災アニマル診断



マイ・タイムラインノート

参加者の感想

- ・ 災害時の警戒レベル5の時に避難が完了するのでは遅く、警戒レベル4の時に避難が完了する必要があることを知った。
- ・ マイ・タイムラインを作成する前は防災アニマル診断でハムスタータイプであったが、マイ・タイムラインの作成後はライオンタイプまで防災意識が高まった。
- ・ 家族の人数が多いから早めに避難することが必要だと思った。



自治会長による挨拶



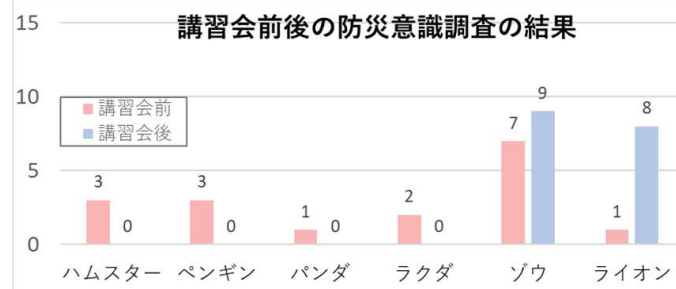
王寺町防災ハザードマップの説明



講習会の説明の様子



自宅のリスクの確認



低 ← 防災意識レベル → 高

・講習会前後に「防災アニマル診断」により参加者の防災意識を調査し、講習会後に意識が高まったことを確認出来ました。



【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 大和川河川事務所 流域治水課
 〒582-0009
 大阪府柏原市大正2丁目10番8号
 TEL 072-971-1381 (代表)



- 藤井寺市において、洪水浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の管理者等を対象に避難訓練の実施率を上げる事を目的とした施設タイムラインの作成に関する講習会を開催しました。
- 意見交換会は、各警戒レベルで何をするべきか、リラックスした雰囲気です少人数による対話を行うワールドカフェ方式で行われ、各施設が抱える避難に係る課題抽出と解決策について意見を出し合い施設タイムラインを作成しました。
- 参加していただいた各施設の方には、講習会終了後に各班で作成したタイムラインシートの写真を持ち帰っていただき、今後すすめていく訓練の参考としていただくことで、避難訓練の実施率向上を図ります。

■ 実施概要

【日 時】 令和7年10月27日（月） 14時00分～16時00分

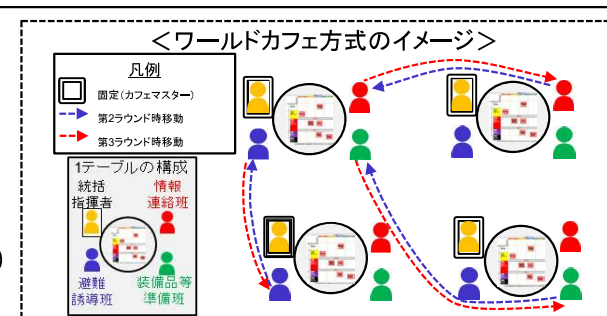
【場 所】 藤井寺市立市民総合会館 中ホール

【参加者】 要配慮者利用施設関係者 20施設27名

行政関係者（気象台、大阪府、奈良県、大阪市、藤井寺市） 15名

【議 題】 ①避難訓練の必要性について（藤井寺市） ②防災気象情報について（大阪管区気象台）

③意見交換会 テーマ：施設利用者と施設職員の命を守る行動



講習会あいさつ(藤井寺市長)



意見交換会の様子



講習会終了後



作成された施設タイムラインシートの一例 ※警戒レベル2までを抜粋

○班 の施設タイムライン検討シート

担当者名	統括指揮者	情報連絡班	避難誘導班	装備品等準備班
警戒レベル1 ■早期注意情報 (管轄級の可能性)	職員の出動 状況を把握 しておく	施設内の状況 チームのリー ダーと打ち合 わせる	利用者家族 への情報伝達	避難先、 避難経路の 確認
休業および 職員召集の 判断		建物内外の 確認、要請		在庫のチェ ック 食料 資材
警戒レベル2 ■大雨注意報 ■洪水注意報 ■高潮注意報 ■地震注意情報 ■土砂災害(危険 度分布)「注意」	情報の収集 施設職員 召集	水位情報の 確認	統括指揮者 への情報伝 達	避難者の人 数等の確認
	活動の指示	来賓者へ希 嘱指示	施設内・外 への情報伝 達	施設内・外 への情報伝 達
各担当から 報告待ち	避難開始	市に状況を 確認	学校が休み (土曜日、 祝日) 通 車場所	避難誘導 開始

＜凡例＞
■ 第1ラウンド
■ 第2ラウンド
■ 第3ラウンド
● いいねシール

【参加者の声】

- ・ 老人ホームや病院、学校など他の施設の方と意見を出し合うことで、今まで考えていなかった視点もあったので、施設に持ち帰って共有を図りたいです。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 流域治水課
〒582-0009 大阪府柏原市大正2-10-8
TEL 072-971-1381



国土交通省
大和川河川事務所

国土交通省
大和川河川事務所

事業紹介

概略版



Youtubeで「大和川河川事務所」と検索！！